

【報告事項】

1. 芦屋川カレッジ第39期生及び聴講生、大学院15期生

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第39期	日本文化コース	30	8	18	26
	世界文化コース	30	7	17	24
芦屋川カレッジ聴講生	日本文化コース	40	17	22	39
	世界文化コース	40	12	29	41
芦屋川カレッジ大学院第15期	こころおどる世界の祭り・カーニバル	72	31	45	76

特記事項

新型コロナ対策として、定員を減じましたが、芦屋川カレッジについては昨年より増加したものの定員未達でした（聴講生、大学院については定員以上の応募がありました）。

「広報あしや」での大きな支援は得られないものの、対象者に告知するためのチラシの配布方法や募集時期を早めるなど、関係者の協力を得て、広報活動の強化に努めてまいります。

広報手段の一つとして芦屋川カレッジホームページを今年度作成しましたので、更に活用されやすいよう工夫します。

カレッジ卒業後の同期会立ち上げについては、例年受講生が当惑することが多く、今期から学友会の経験者による説明をいただき、順調にカレッジの伝統である同期会設立にむけての活動を続けています。

大正大学地域創生学科3年生による「高齢者が地域活動のプレイヤーとなる」をテーマにした阪神間のシニアカレッジの意識調査があり、参加しました。

3月には他シニアカレッジの調査結果も入手できますので、今後の運営の参考にいたします。

今年度の「第15回あしや市民活動フェスタ 未来をつくる芦屋たぶん100人会議 プレゼンテーション大会」では、カレッジの講座、人脈など活かし、受講生が「花と緑があふれる街『芦屋』プロジェクト」と題したプレゼンテーションを行い、グランプリを獲得しました。その後、着実に活動の輪を広げています。

2. 春・夏の公民館講座等の実施状況について

春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 「わたしの映画製作術」	4月4日	300	87	87	87	87
日本中世史講座 「14世紀の戦乱を考える」	全3回 4月14日、5月12日、6月9日	60	72	65	172	47
哲学入門講座 「幸福とはなにか アリストテレスの倫理学入門」	全3回 4月28日、5月26日、6月23日	60	68	65	169	44
近現代史講座 「近代日本の『政変』 -内閣が替わるとき- (3)」	全3回 4月2日、5月14日、6月11日	60	75	65	171	42
美術史講座 「聖母の美術史-信仰を育んだイメージ」	全3回 4月25日、5月30日、6月27日	60	82	67	171	42
日本人の源流・神話を訪ねて 「古事記から読み解く言葉の力」	全3回 4月18日、5月9日、6月13日	60	70	64	168	45
「世界はニュースだけではわからない」	全6回 4月16日、5月21日、6月18日、 7月16日、8月6日、9月17日	60	99	71	330	29
「文化の歴史」	全6回 4月21日、5月19日、6月16日、 7月21日、8月18日、9月15日	60	101	74	364	34
芦屋市立病院公開講座	全5回 4月9日、5月14日、6月11日、 7月9日、8月(中止)、9月10日	60	141	141	141	各回ごと 募集
芦屋大学公開講座 「発達障害のある人の学ぶこと 働くことを考える」 「オーストラリア先住民のアート」	2回 3月14日、3月26日	60	59	59	71	12

夏の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
音楽史へのいざない ～モダニズムの音楽～ブラジルからパリへ	全3回 7月2日、7月23日、9月3日	70	65	63	96	34
日本美術の魅力 ～江戸美術の華・琳派と浮世絵～	全3回 7月23日、8月22日、9月3日	60	88	71	61	61
経済学講座 「変化する国際政治と日本経済 —日本の経済政策は何処で間違えたのか」	全3回 7月4日、8月22日、9月3日	60	94	67	119	51
近現代文学講座 「関西文化に育まれた文学」	全3回 7月23日、8月27日、9月24日	60	59	54	54	54
時空を旅する講座 「鎌倉殿の13人」	全3回 7月14日、8月25日、9月22日	90	113	87	87	87
芦屋の歴史と文化財 学芸員と探る芦屋の歴史	全3回 7月25日、8月8日、9月26日	60	90	59	111	52

特記事項

新型コロナ対応として、隣の席を空けるため音楽室以外は定員 60 名に抑えてきましたが、プロジェクターを使わない講座は窓を開放し換気が十分確保できますので、定員 90 名に緩和しました。CO2濃度計で常時部屋の換気度を監視しており、良好なレベルです。(受講生のマスク着用、検温、手指消毒は従来通りです)

また、今期から、芦屋市職員で学芸員 3 名の方々に芦屋市の歴史、文化財の講演をいただき、好評です。

3. 秋・冬の公民館講座等の実施状況について

秋の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 2025年万博に向けて1970年万博を想う	9月30日	90	63	63	63	63
西洋美術史 風景画の東西—自然と人間	全3回 10月24日、11月28日、12月19日	60	142	70	175	44
哲学入門 強い者が正しいのか ソフィストとソクラテス	全3回 10月27日、11月24日、12月22日	90	63	58	153	42

日本近現代史 近代日本の政変 ―内閣が替わるとき	全3回 10月1日、11月5日、12月3日	90	69	65	173	45
サイエンス講座 放射線の科学 低線量被曝について	全3回 10月8日、11月26日、12月10日	60	53	48	120	28
日本人の源流・神話を訪ねて 古事記から読み解く言葉の力（下）	全3回 10月25日、11月22日、12月16日	90	92	87	228	62
文化の歴史	全6回 10月20日、11月17日、12月15日、 1月19日、2月16日、3月17日	60	101	68	182	1月末 現在
世界はニュースだけではわからない	全6回 10月15日、11月5日、12月8日、 1月21日、2月18日、3月11日	60	93	63	146	1月末 現在
芦屋市立病院公開講座	全6回 10月23日、11月1日、12月3日、 1月14日、2月4日、3月11日	60	累計 111	累計 111	各回募集	1月末 現在

冬の公民館 講座 1月末現在

講座名	回数・日時	定員	応募 者数	受講 者数	延べ 出席者数	全回 出席者数
芦屋大学公開講座 SDGsについて考えよう	全1回 3月4日	90	申し込み 不要	未	未	未
芦屋大学公開講座 映画とはニコラス・レイのことだ	全1回 3月24日	90	申し込み 不要	未	未	未
芦屋の歴史	全3回 1月30日、2月27日、3月27日	90	97			
近現代文学講座 関西文化に育まれた文学	全3回 1月28日、2月25日、3月25日	90	69			
時空を旅する 徳川家康と彼の生きた時代	全3回 1月22日、2月9日、3月9日	90	109			
日本美術の魅力2 近代の美術1 「明治の浮世絵」	全3回 1月28日、2月25日、3月25日	90	71			
経済学講座 変わりゆく世界経済と日本経済・ 日本企業の行方	全3回 1月23日、2月6日、3月2日	90	70			

特記事項

1月以降の講座は芦屋市民病院公開講座を除いて全て教室の定員どおり90名としましたが、受講生からは大きな不満もなく開催できています。

4. 講演会・公開セミナー

事業名	実施日	参加人数
家庭教育セミナー 比べない子育て ～子供の意欲、折れない心、学力を伸ばすために～ 共催 芦屋市PTA協議会・公民館 オンラインZoom	7月1日	57人
消費生活セミナー 18歳から狙われる！ ～若者の消費者トラブル防止のためにできること 共催 芦屋市地域経済振興課・公民館	8月1日	9人
親子ひろば 人形劇と作って遊ぼう！	8月6日	14組・33人
平和事業 講演会 みんなで考える平和セミナー 女性たちのシベリア抑留	8月10日	105人
平和事業 平和を考える映画会 六千人のユダヤ人を救った日本領事の決断 「命のビザ」	8月27日	85人
家庭教育セミナー 15歳までに大切にしたい、 大人が子どもにできること オンラインZoom	11月12日	65人
田辺真人先生と巡る兵庫津ミュージアムと周辺史跡	12月1日	44人
親子ひろば ラッキーの会 人形劇を作って遊ぼう	12月11日	23人
消費生活セミナー いま知っておきたいお金の話 オンラインZoom 併用	1月31日	会場 12人 オンライン 3人

5. 公民館音楽会

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数
フルート・クラリネット・ピアノの午後	全1回 7月30日	70	174	82
チェロとピアノ、バレエの饗宴	全1回 9月24日	70	306	86
フランス・ドイツ・日本 音で描く情景 ～木田陽子ピアノコンサート	全1回 10月29日	70	158	86
晩秋のジャズ	全1回 11月12日	70	196	74
中嶋弥生ヴァイオリンコンサート ～ヴァイオリンで巡る 和と洋のハーモニー	全1回 2月4日	70	150	未

特記事項：

芦屋市在住、出身の音楽家を起用し、やさしい解説やトークもあり、和やかな雰囲気を創出しています。

コンサート前と休憩時には窓を開け換気をし、待ち時間における受講者同士の会話をお断りして、コロナウィルス感染防止に工夫をしました。

「チェロとピアノ、バレエの饗宴」では、芦屋大学経営学部バレエコースと兵庫県立芸術文化センター薄井憲二バレエコレクションの資料展示協力を得て、公民館ギャラリーで関連展示をしました。コンサートとの相乗効果があり、バレエの理解が深まったと好評でした。

6. 常設展示事業

「芦屋の街かど写真展」 3月28日～4月6日

「芦屋川カレッジは修了後が楽しい展」 4月8日～4月16日

「みんなで考えよう平和展」 8月3日～8月24日

「夏休み子ども教室作品展」 8月26日～9月5日

「音楽とバレエ 成り立ちから『瀕死の白鳥』へ」 公民館音楽会関連展示

(協力：兵庫県立芸術文化センター 薄井憲二バレエ・コレクション)

※芦屋大学バレエコースと協働での展示 9月10日～9月26日

「芦屋のペット、大集合写真展」 10月12日～10月22日

読書の秋！「読書週間・こどもの読書週間ポスターデザイン展」

10月27日～11月7日

学校教育課芦屋市造形教育展

2月9日～2月22日

7. 公民館ギャラリー

「魔法の手」	4月20日～4月25日
「クレパスの会」	4月28日～5月2日
「あしやY0 写楽会作品展示会」	5月11日～5月16日
「淡遊会」	6月15日～6月20日
「日本画芦の会」	10月2日～10月9日
「芦屋郵趣会」	11月11日～11月14日
「コミスク活動展」	11月16日～11月21日
「MOA 美術館芦屋児童画展」	11月25日～11月27日
「市老人クラブ連合会活動展」	11月28日～12月2日
「OLIVE 絵画展」	12月14日～12月19日
「芦風会」	12月21日～12月26日
「清友篆會展」	1月14日～1月18日
「グループ手間を楽しむ hedgeheg」	3月16日～3月19日

8. 夏休み子ども教室

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 粘土の夏モチーフで作るフォトフレーム (午前)	14	31	11
② 粘土の夏モチーフで作るフォトフレーム (午後)	14	28	14
③ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」 (午前)	14	30	14
④ てん刻教室「名前の一字印などを作ろう」 (午後)	14	19	13
⑤ クッキーを作ろう	10	47	中止
⑥ 水彩画を楽しむ「ひまわりの花を描こう」	16	22	15
⑦ 水彩画を楽しむ「ひまわりの花を描こう」	16	17	13
⑧ オカリナ教室	16	33	14
⑨ オカリナ教室	16	23	15
⑩ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」	16	27	13
⑪ 古代にタイムスリップ「まが玉のアクセサリ作り」	16	31	14
⑫ そば打ちを楽しもう	10	33	中止
⑬ 科学のおもちゃ作り	16	24	14
⑭ 夏休みアニメ映画会「つるにのってーとも子の冒険」「フランダーズの犬」	60	33	33
⑮ 夏休みアニメ映画会「火垂るの墓」	60	28	28

感染者の急増により、クッキーを作ろう、そば打ちは料理室で密になり食事を伴うため中止しました。

9. その他

講座名	回数	実績
にほんご学級	全43回 毎週木曜日	15名受講

特記事項

毎週木曜日午前中に開催。1回90分、10回で2千円の受講料。

マンツーマン方式により、受講生の希望やレベルに合わせた日本語の会話、読み書きを中心としたレッスン。

日本語を教えるボランティア支援者の登録者数19名（会の役員4名を含む）。

受講生登録者数40名の内、令和4年度に恒常的に参加している人数約15名程度。

受講生の出身国は、中国・韓国を中心に、アメリカ・イギリス・シンガポール・イラン・バングラディシュ・ベナンなど幅広い。これまで開催曜日時間帯的に、30代～40代の女性の参加率が高かったが、令和4年度は在宅勤務などが増えたこともあり、20代～40代の男性受講生も増えました。

芦屋市在住の外国人に広く知ってもらうためホームページで各国語のチラシを公開しました。

広く知ってもらうため「広報あしや」に、にほんごがっきゅうの案内を掲載しようと試みたが、「広報あしや」は基本的にイベントなどの告知をすることが主で、恒常的に開催されている教室の案内は掲載基準に合わないという理由から、掲載見送りとなりました。その際に、外国人向けの広報への掲載がよいのではないかとのことだったが、「アシヤニューズレター」という年4回発行の英語版広報誌は2020年7月号を持って発行終了となっており、現在は通常の「広報あしや」が10言語で自動翻訳される「カタログポケット」というアプリになっているため、できれば「広報あしや」にて、広く告知したい。

10 令和4年度 阪神青い鳥学級南支部尼崎教室

(1) 概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障害者が対象の教室で、今年は尼崎市が幹事。

定員 尼崎市10人 西宮市10人 芦屋市10人

(2) 内容 【体験】【社会見学】【芸術文化】

10月 尼崎市歴史博物館 開講式・歴史講座・館内見学

11月 尼崎市立立花南生涯学習プラザ 吹奏楽コンサート

12月 尼崎市立立花南生涯学習プラザ いけばな体験

11、令和4年度 阪神くすのき学級 芦屋教室

(1) 概要

阪神間の7市1町（芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町）に在住の聴覚・言語障害者が対象の教室で、今年は芦屋市が幹事。兵庫県教育委員会が、兵庫県くすのき学級運営委員会に委託し、「阪神くすのき学級芦屋教室運営委員会」が実施。 定員30人。

(2) 内容 10月30日（日） 芦屋の街の文化探訪「ヨドコウ迎賓館へ」（集合場所 芦屋市民センター）

講師 芦屋市生涯学習課文化財係長 竹村忠洋

ヨドコウ迎賓館館長 岩井 忠之

11月13日(日)

開講式

時事解説と手話落語 講師 宇宙亭 笑任

昼食 交流会

講義「阪神間の文化探訪」 講師 武庫川女子大学准教授 三宅正弘

閉講式

特記事項

6年に1回の芦屋市での開催で、担当者が障害者教育に不慣れのため、要約筆記などで不備があった。終了後、関係部門と反省会を開催し、次回以降の準備、情報共有化の手順を定めることにした。担当市となった場合、前年度からの準備が必要である。また芦屋市からの受講者が3名に留まり、広報手段を検討する必要がある。